

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月23日

事業所名 サトスポキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動スペースをさらに拡張し、個々の活動に応じてスペースを確保できるよう、利用定員を守っています。	運動種目によっては、スペースが限られてしまうので、より活用できるよう工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		適切な数を配置しております。	今後も配置数を適切に守り、様々なスタッフと関われる機会を設けています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚支援・構造化を取り入れ、わかりやすい環境づくりをし、事業所内はバリアフリー化されています。	事業所外にある段差などは、バリアフリー化が難しいので、必要に応じてスタッフが手伝うなどの配慮を心掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用前後に必ず消毒を行い、快適に過ごせるよう心掛けています。	コロナ対策等を踏まえ、清掃・消毒の徹底を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の振り返りを行い目標設定の確認・見直しをしています。	常勤以外のスタッフにも参画できるような書面に残すなどの工夫をしているのでより徹底していきたいと思えます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様が書面とGoogleフォームを選択できるよう設定し、アンケートを実施しました。	アンケートでいただいたご意見をもとに業務改善に努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価表をホームページで公開しております。	今年度もホームページ上で公開していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		外部講師に研修を依頼し支援内容の改善をはかっています。	今後様々な分野の外部評価をして頂くことで、客観的な視点も踏まえての改善に繋げていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的な研修の機会を設けております。	今後様々な分野の研修を受けることで職員のスキルアップを目指していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時および定期的なモニタリングによりアセスメントを行い支援計画を作成しています。	保護者様のニーズが優先されがちですがお子様へのアセスメントも行うことで本人のニーズにもしっかり答えていきたいと思えます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントツールの使用により、より細かい状況の把握をすることができています。	お子様の成長に合わせて、その状況を把握することでより良い支援に繋げていきたいと思えます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援計画に「発達支援」「家族支援」「地域支援」のそれぞれの項目を設け、具体的な支援内容を設定しています。	3つの支援すべてを記入したものを提出し、具体的な支援目標設定の理由も書いています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		直接支援を行う前に支援計画等を目を通して確認してから支援しています。	児童発達支援計画及び保護者様から提供いただいた参考資料をもとに支援していきたいと思えます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		常にそれぞれのアイデアを話し合う機会を設けています。	チーム内で出た意見をお互いに確認、評価し合うことでより良い支援に繋げています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		本人主体で種目を選べるよう視覚支援を行っています。	お子様とコミュニケーションをとりつつ、様々な運動に取り組むことが出来るようにしています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		基本的にはマンツーマン指導ですがご希望に応じてペア指導、集団指導も企画しております。	個別指導においてお子様の状況をしっかり把握することで、他の子にも合わせて行動できる力を育てていきたいと思えます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日に必ず内容・役割分担の確認を行っています。	今後も継続して必ず打合せをしてからの支援を心掛けたいと思います。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後、必ず振り返りを行い、気付いた点を共有しています。	今後も継続して必ず支援の終了後に振り返りを行い、お互いに気付いた点を共有しあうことでより良い支援につながるよう心掛けたいと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々、支援における活動内容、反省点等を記録しています。	今後も継続して正しく記録を取ることでより良い支援につながるよう心掛けていきたいと思っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行いお子様・保護者様のニーズの聞き取りを行っています。	モニタリングを行うことにより常に支援計画の見直しをおこなってまいります。保護者様同伴でのご利用なので、モニタリング以外の時期でも必要に応じてご相談に乗っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者および実際の支援に携わっているスタッフが参加させていただいています	参加させていただく際にそのお子様の状況をしっかり把握しお伝えできるよう常にスタッフ間での共有を心掛けています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センター、子ども子育て総合支援センターから見学に来ていただいております	今後も連携を図り、より良い支援に繋げていきたいと思っています
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません	医療的ケアが必要なお子様が今後利用される際は必要に応じて連携させていただきたいと思っています
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません	医療的ケアが必要なお子様が今後利用される際は必要に応じて連携させていただきたいと思っています
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様を通じて情報を得るようにしています	保護者様のご希望に応じて連携を心掛けていきたいと思っています。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様を通じて情報を得るようにしています	保護者様のご希望に応じて連携を心掛けていきたいと思っています。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		センターにて開催されている研修に参加させていただいています	各センターより助言をいただける機会があれば積極的に取り入れていきたいと思っています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		障害のない子どもも参加できる体操教室を併設し、交流の機会を設けております	地域の園などとの交流もコロナの状況に応じて検討してまいります
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		地域の児童支援連絡会に参加させていただいています	役員として参加させていただいております。より積極的な活動へと繋げていきたいと思っています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の利用児に同伴していただいている保護者様と共有する機会を設けています	今後もその時々状況に応じて、お子様の発達における課題を共有し、一緒に成長を見守っていききたいと思います
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		ペアレントトレーニングトレーナー資格を持つスタッフが保護者様に支援させていただいています	今年度はご希望の方にペアレント・トレーニングの講座をご紹介させていただきました。ご要望があった場合は、事業所内でも開催出来るように対応しています	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		ご契約の際に丁寧にご説明をさせて頂いております	利用を開始してからの疑問点があれば、随時お答えしていける体制を整えています	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		半年に一回のガイドラインに基づいた児童発達支援計画を作成し、保護者様にご確認の上、同意を得ています	今後も継続して参ります	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談いただいた際には随時対応させていただきます。しております。	様々な資格・経験値のあるスタッフがそれぞれの悩みに応じて助言と支援を行っております
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		個々の要望やテーマに合わせ、対面やzoomを活用し開催しております	ニーズにお応え出来ていない方にはコロナの状況等を踏まえ今後対応していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		毎回保護者様同伴のため、相談、申し入れに対して対応できる体制にあります	今後も個々の必要性に応じて迅速かつ適切に対応して参ります
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ・LINE・Facebook・会報にて発信する体制をとっております	今後、定期的な会報の作成を継続し、保護者様への情報発信に努めます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に注意し、支援に必要な際は保護者様に同意をいただいております	今後も十分注意して取り扱っていきたくと思います。個人ファイルは鍵付き書庫にて保管しております
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもの特性に合わせ絵カードを活用するなど、意思疎通の工夫を行っています	保護者様と個別LINE等を活用し、双方向のやりとりも工夫していきます
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	開所前には同ビル内の店舗の皆様へご理解いただくためのご挨拶をさせていただきました。	地域の皆様にも参加していただけるイベントの企画などを今後行っていくことで開かれた事業運営を行っていきたくと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		それぞれの状況に応じたマニュアルを作成しております	周知方法が不足していたので、いつでも閲覧していただける場所への設置を考えていきたくと思います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に1度の避難訓練は実施しております。	実施回数を増やすことでより多くの方に訓練を経験する機会を作っていきます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントツールにより、状況の把握をすることができています。	保護者様のご協力のもと、それぞれの状況を職員間で共有して参ります
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	飲食の機会はありません	今後、イベントなどにおいて飲食の機会を設定する場合は必ず医師の指示書に基づく対応をさせていただきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例集の作成をしております	今後も作成と共有を心掛けていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修に参加し職員間で共有しています。	職員間での共有を今後も心掛け、適切な対応を行っていきたくと思います
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		保護者様同伴のため、身体拘束が必要な場面はありません	今後、必要な場面が出てきた場合でも必ず保護者様とのご相談の上、その方法についても考慮していきたくと思います

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。